

「防災観光」を目的とした被災地視察を行いました (2020/2/14-15)

テーマ：防災観光、APRU, 震災遺構

場所：山元町、岩沼市、名取市、気仙沼市、東松島市、陸前高田市

2020年2月14-15日の2日間、「防災観光」を目的として、APRU加盟大学（ワシントン大学、マレーシア大学、四川大学、香港中文大学、フィリピン大学、台湾国立大学、京都大学など）から11名を被災地へ案内し、東日本大震災の経験・教訓・復興政策を学びました。当研究所からは、柴山明寛 准教授（情報管理・社会連携部門）、泉貴子 准教授（地域・都市再生計画部門）が参加し、海外からの参加者に被災地の説明などを行いました。本プロジェクトは仙台市、宮城県のインバウンド向け防災観光の基盤整備業務で実施されたもので、当研究所及び近畿日本ツーリストが中心となって企画したものです。

訪問先は以下のとおりです：

- 山元町：ICHIGO WORLD（イチゴワールド）
- 岩沼市：千年希望の丘
- 東松島市：東松島震災復興祈念公園 震災復興伝承館（旧野蒜駅）
- 気仙沼市：気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館
- 陸前高田市：東日本大震災津波伝承館-いわてTSUNAMI（つなみ）メモリアル-

参加者は各自治体の異なる防災対策、震災遺構の大切さ、地域に適した様々な防災・復興が存在すること、教育や伝承の大切さを実感し、感銘を受けておられました。特に「経験を語り継ぐことの重要性を痛感した」、「今後、学生と共に再訪したい」、「今回の視察で学んだことを同僚、学生、家族と共有したい」などの感想をいただきました。



山元町いちご産業復興について学ぶ



東日本大震災津波伝承館



東日本大震災津波伝承館



気仙沼向洋高校



気仙沼向洋高校



東松島旧野蒜駅

文責：柴山明寛（情報管理・社会連携部門）、泉貴子（地域・都市再生研究部門）